

建設業

回答企業58企業

概況

～業況判断D I 値 大幅改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比33.3ポイント上昇の0.0と改善、前回調査予想値(1.8)は下回る結果となった。項目別では、売上・受注が52.5ポイント上昇の8.6、売上数量も52.5ポイント上昇の8.6、利益でも30.0ポイント上昇の▲12.1となった。すべての項目で大幅改善となった。

受注工事に於いては業者間の格差見られるものの、おおよそ例年並みの動き。資材価格高騰は継続しており利益確保に影響している。

分野別の状況

～総合的業況は大幅改善で推移～

板金工事や土木工事は堅調に推移している。

造園工事業は、固定客を中心に雪囲いの取り外しや庭木の入手等売上増となるが、固定客の減少が続いており受注確保が厳しい状況となっている。

一般住宅において建築費高騰から新築物件の契約率低下が見られ、リフォーム工事が増加傾向となる。

来期の見通し

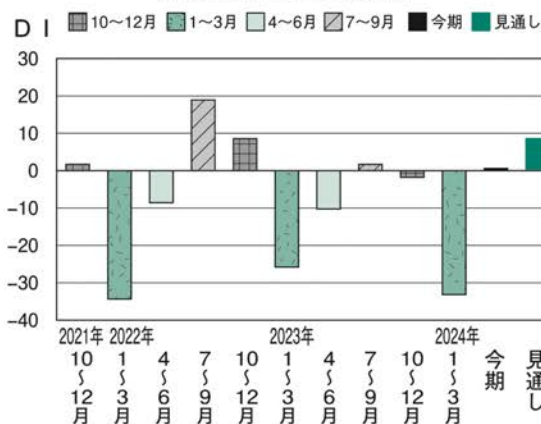
～業況判断D I 値 やや改善の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比8.6ポイント上昇の8.6と改善の見通しである。項目別では、売上・受注で▲5.1ポイント低下の3.5、売上数量も10.4ポイント低下の▲1.8、利益では6.9ポイント上昇の▲5.2となった。

一般住宅の受注状況は回復傾向が見込まれているものの、人員不足をあげる事業者も多く、人材・下請先確保に注力している。

業況判断D I 値の推移



製造業

回答企業32企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比8.8ポイント上昇の▲9.4とやや改善し、前回調査予想値(6.1)は下回る結果となった。項目別では、売上・受注で27.6ポイント上昇の9.4、売上数量も24.4ポイント上昇の6.2、利益でも24.6ポイント上昇の9.4と全ての項目で改善となった。

さくら祭りやゴールデンウィークがあり食品関連は好調に推移。

分野別の状況

～総合的業況 やや悪化で推移～

衣料縫製業では女子制服用スラックスズボンの受注が好調に推移。ハイブランド関連も受注安定。

原材料を輸入に頼る食品製造業に於いては、価格転嫁による値上り、販売数量の減少につながった。

生コン製造業者では建設業者が動きだした事により売上増加傾向。4月より価格値上りにより適正な利益確保。

来期の見通し

～業況判断D I 値 やや悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比9.4ポイント低下の▲18.8とやや悪化の見通しである。項目別では、売上・受注では21.9ポイント低下の▲12.5、売上数量も19.1ポイント低下の▲12.9、利益でも25.0ポイント低下の▲15.6と、項目別でも悪化の見通しとなった。

製造業では「材料・仕入価格上昇」や「売上の低迷・減少」を懸念している先が多く、不安な見通しとなった。

業況判断D I 値の推移

